

# 稲田石

日本全国を  
優雅に演出

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を控え、多くの外国人を含めた方々が、東京を訪れることとなります。

日本の顔、陸の玄関口ともいえる東京駅。その東京駅丸の内駅前広場の駅舎に向かって中央に位置する場所に、笠間市産の稲田石が幅約20m・長さ約85mに渡り敷き詰められ、優雅に演出される予定です。

昨年には、山口市長が施工状況の現地視察に訪れ、東京で笠間の風を感じることもできるポイントが増えたことは大変うれしく、市民の皆さんにも訪れて欲しいとのこと。

完成時期は、今年の6月を予定しています。近くを訪れた際には、ぜひ立ち寄っていただき、首都東京に息づく笠間を感じてみてください。



▲東京駅



▲東京駅の整備状況を視察する市長



▲東京駅丸の内駅前広場再開発の様子

東京都  
千代田区

